

令和7年6月21日（土）より

「こがしる講座」を開設します

「こがしる講座」の意味は「古賀（市 史 知）る講座」の事です。

古賀郷土史研究会では古賀郷土の歴史や文化に対する関心を深め、町づくりについて考えています。特に古賀郷土の歴史や地域の紹介など伝えていきたいと考えています。私達は老若男女を問わず、昼間は仕事で忙しい働き世代の人達に参加しやすいように、夕方から開催することを考えています。この企画が郷土愛を深める一助になれば嬉しく思います。

主催 古賀郷土史研究会

場所 リーパスプラザこが交流館 103号室

時間 18：30～20：00 （18：00より受付）

資料代 300円（申し込みは不要）

次回開催予定、 9月20日（土）18：30より（103号室）

第1回 令和7年（2025） 6月21日（土） 「こがしる講座」

講座「鞍手郡若宮郷での最大の戦、小金原の合戦」 飯島勇一郎

天正12（1581）年11月に起きた戦で、一般に小金原合戦と言われています。この戦いは10年前の宗像氏と大友氏の和睦の際に西郷地区（福津市）に居た36家の西郷党と呼ばれる郷土たちがいました。頭領を殺害されたうえ、鞍手郡若宮郷に強制移住させられたことに、西郷党の面々は立花家への強い遺恨となり、「この恨みをいつか晴らしてやろう」考えていました。そして立花輸送隊が若宮郷を通過する情報を得ると、千載一遇のチャンスとばかり、宗像・秋月の軍勢と示し合わせ立花輸送隊を襲撃したのです

連絡 092-943-6850 古賀郷土史研究会（飯島）